

「IPv4 割り振り/返却申請手続きについて」新旧対照表

現在の文書	改定後の文書
<p>2. 割り振りを受けるのに必要な条件</p> <p>JPNIC から IPv4 アドレスの割り振りを受けるには、以下の a)から c)に示す条件を満たしている必要があります。</p> <p>(中略)</p> <p>さらに、初回割り振り時には、上記 a.から c.を満たした上で、下記の d. <u>から f.全ての</u>条件を満たしている必要があります。</p> <p>d)上位のプロバイダーから、すでに/24の IPv4 アドレスを割り当てられ使用している、または直後に/24の IPv4 アドレスを使用することを証明できる。</p> <p>e)1年以内に/23の IPv4 アドレスを使うことを証明できる詳細な計画を提示できる。</p> <p><u>f)1年以内にそれまで使用していた IPv4 アドレスから、新たに割り振られる IPv4 アドレスにリナンバする。</u></p> <p>すでに IPv4 アドレスの割り振りを受けた上で、IPv4 アドレス空間の追加割り振りを受ける場合には、さらに次の <u>g.</u>および <u>h.</u>に示す条件を満たしている必要があります。</p> <p><u>g)</u> 割り振りを受けた全 IPv4 アドレス空間の割り当て率が 80%以上である。(中略)</p> <p><u>h)</u> 過去の IPv4 アドレスの割り当てについて、割り当て基準を満たしていること。(中略)</p>	<p>2. 割り振りを受けるのに必要な条件</p> <p>JPNIC から IPv4 アドレスの割り振りを受けるには、以下の a)から c)に示す条件を満たしている必要があります。</p> <p>(中略)</p> <p>さらに、初回割り振り時には、上記 a.から c.を満たした上で、下記の d. <u>および e.に示す</u>条件を満たしている必要があります。</p> <p>d)上位のプロバイダーから、すでに/24の IPv4 アドレスを割り当てられ使用している、または直後に/24の IPv4 アドレスを使用することを証明できる。</p> <p>e)1年以内に/23の IPv4 アドレスを使うことを証明できる詳細な計画を提示できる。</p> <p>すでに IPv4 アドレスの割り振りを受けた上で、IPv4 アドレス空間の追加割り振りを受ける場合には、さらに次の <u>f.</u>および <u>g.</u>に示す条件を満たしている必要があります。</p> <p><u>f)</u> 割り振りを受けた全 IPv4 アドレス空間の割り当て率が 80%以上である。(中略)</p> <p><u>g)</u> 過去の IPv4 アドレスの割り当てについて、割り当て基準を満たしていること。(中略)</p>